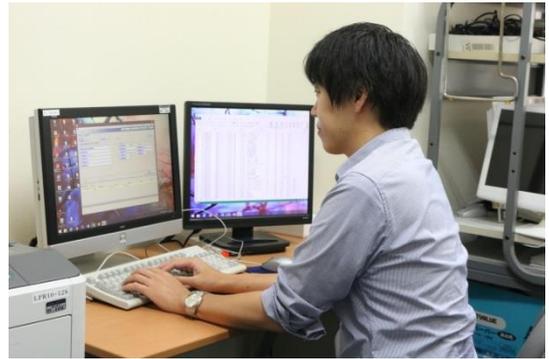


先輩紹介

W・Yさん

所属：教育支援センター
学修支援課

入職年度：2014年



○現在の業務について

私の所属する教育支援センター学修支援課は、大学の教務関連業務を扱う部署です。窓口での学生対応の他、カリキュラム確認や時間割作成、学籍管理や履修登録・成績管理等、様々な業務を担い、大学の学修基盤を支えています。

私が担当している主な業務は履修登録・成績管理です。履修登録に関しては、課員と協力して学生が円滑に手続きできるようサポートし、履修登録後は支障なく授業が行われるよう教員と学生の橋渡し役も努めます。成績管理では、教務システムの各種設定を経て各学生の履修・成績データを処理し、卒業・免許資格取得の判定などを行います。

○渡辺学園を選んだ理由

伝統ある学園にも関わらず、時代の要請に適應する力があり、一方で創立当初から「自主自律」という建学の精神を基に、専門性のある女性の育成を目指してきた先見力のある渡辺学園の魅力に惹かれたためです。

私が入職した当時、東京家政大学に看護学部、子ども学部が開設されましたが、社会のニーズに応えられる躍動感のある大学だと思いました。

18歳人口の減少により、日本の大学は生き残りをかけて様々な施策を打ち出しているところですが、渡辺学園の一員として、その競争に参加してみたいと考えました。

○仕事のやりがい

私が主に担当している履修登録・成績管理業務においては、学生が入学し卒業するまでの教育の根幹に携われるので、非常にやりがいがあります。日頃から、学生の履修登録や授業に関する様々な相談を受けますが、中には思うように単位が修得できないことに悩み、何度も窓口に来てくれる学生もいます。そして、自分のアドバイスが一助になり、学生が卒業できたときには感慨深いものを感じます。

また、履修登録や卒業判定の処理は、あらかじめ膨大なデータを精査しながら間違いのないよう教務システムの設定を行う必要がありますが、学生の卒業を目の当たりにすると、地道な作業が実を結んだことが証明されたようで、達成感があります。

○応募者へのアドバイス

大学を取り巻く環境は変化し続けています。大学は、変化に適應できなければ淘汰されますが、その大学を運営し改革していくのは私たち職員である、という意識を持ち続け、業務に取り組むよう心がけています。

常に国政や他大学の動向をチェックし、各種教育関連ニュースを読み解き、知識を蓄積しておくことで、時代の変化に柔軟に対応できるものと確信しています。

渡辺学園は緑豊かでのびのびとした校風です。勉強だけでなく仕事をするうえでも非常に恵まれた環境だと思います。

渡辺学園に興味をもっていただいたみなさんと、一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。